

2023 年度公益財団法人日本財団助成事業

「社会課題の解決策を多セクターで共創するプラットフォームの機能強化」事業報告書

2024 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター

1. 事業の目的

以下の目的を達成するために、後述の事業を実施した。

<2 年後>

- ・ 課題を行政に押し付けず、困難を抱える当事者が解決に向けて声を挙げ、市民が主体的に解決に取り組めるプラットフォームを仙台圏で確立する
- ・ この仕組みを他都市圏に移行することで、中間支援団体をハブに課題解決プラットフォームが誕生する
- ・ 本取り組みを支えるプロボノ、個人・企業会員が増え、事務局が自立できる目処が立つ

<5 年後>

- ・ 課題解決を続け、実践ノウハウを構築し、社会課題の早期発見と多セクターによる予防的取り組みが確立され、事業や制度として地域に実装される

<最終的に>

- ・ 市民主導の課題発見と解決ができる（市民社会の実現）

2. 実施期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

3. 実施内容

(1) 多セクター参画による課題解決ラボの運営(ロードマップ作成)

【実施目標】

- ・ 市民、企業、支援団体、行政、大学のうち 3 つ以上のセクターが参画しロードマップ作成を行い、課題の可視化と課題解決手法の提案を行う
- ・ 事業全体で 30 名のプロボノ参画を実現する

【成果】

- ・ 居住支援のロードマップを公開したことで、企業よりロードマップを活用したいとの申し出があった。
- ・ 居住支援のロードマップについて市民の意見も取り入れて、ロードマップの改訂を継続した。
- ・ 地域自治のロードマップ作成に向けて、現状の課題把握を開始。地域で自治活動に関わる市民や、町内会担当の行政職員などが参加した。

【実施内容】

①居住支援

- ・ ロードマップの公開

(2023 年 4 月 1 日～4 月 30 日)

仙台市市民活動サポートセンター1階マチノワひろばにて、作成したロードマップを展示。市民から意見を集めた。



・事例勉強会

(2023年7月10日 19:00-20:30)

講師：千年建設株式会社 代表取締役社長 岡本拓也氏

ロードマップのバージョンアップへ向けて、母子向け居住支援の取り組みについて、事例を学んだ。

参加者：8名（講師1名、行政1名、市民活動団体2名、まちづくりNPOスタッフ1名、当法人より3名）

・ラボメンバーでの情報交換・勉強会（2023年10月19日 19:00-21:00）

昨今の居住支援の全国的な動きや、それぞれの現場での支援ケースを共有した。また居住支援団体と他分野の団体とのネットワーキングの方法、地域住民の参画の可能性、中間支援のあり方などを議論した。

参加者：5名（市民活動団体3名、まちづくりNPOスタッフ1名、当法人より1名）

②地域自治

・第1回勉強会（2024年2月13日 18:00-19:30）

ロードマップ作成へ向け、現状の課題共有を行った。

参加者：5名（行政1名、市民1名、まちづくりNPOスタッフ1名、当法人より2名）

(2) 企業と社会貢献活動のマッチング

【実施目標】

- ・ 仙台市内を中心に20社をヒアリング。うち5社が新規に本事業へ参画する

【成果】

- ・ 仙台市内を中心に企業17社のヒアリングを実施した。
- ・ SENDAI SDGs Expo2023でヒアリングした企業1社が、12月21日に開催した、多様なセクターが参加する情報交換会に参加した。
- ・ 土木、製造、販売、流通、通信、メディア、サービスなど、地元の様々な業種の企業13社に個別訪問し、企業が感じている地域の課題について情報収集ができた。
- ・ 本事業を通して情報通信業の企業と「情報セキュリティアドバイザー」のプロボノを募集していた団体とをマッチングした。

【実施内容】

- ・ せんだい・みやぎソーシャルハブのnoteにプロボノ募集記事を掲載（2023年9月8日）。記事を見て問い合わせのあった企業（情報通信業）にヒアリングを実施した結果、企業としてプロボノ派遣を検討することとなり、団体とマッチングした。
- ・ SENDAI SDGs Expo2023訪問（2023年11月24日）参加企業4社にヒアリング実施
- ・ 個別訪問ヒアリング13社（実施期間2024年1月12日～3月29日）
※1社は電話およびメールでのヒアリング

(3) 課題解決に伴走するコーディネーターの育成

【実施目標】

- ・ NPO職員やプロボノ等10名を対象に全5回の研修会を実施する
- ・ (1)のロードマップ作成補助に研修受講者が加わり実践経験を重ねる
- ・ 次年度には研修受講者から3名がロードマップ作成コーディネーターの中核を担う

【成果】

- ・ 全 5 回の研修を実施。プロボノと団体のコーディネートへ向けて、OJT 研修も含めて実践経験を重ねている。

【実施内容】

- ・ 1 回目 2023 年 12 月 6 日（内部研修）
参加者 2 名
講師：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター 渡邊一馬
内容：コーディネーター業務の基礎について。
セッションとラボ及びプロボノコーディネートとのつながりについて理解を深めた
- ・ 2 回目 2024 年 2 月 28 日（外部研修）
参加者 2 名
内容：東北チャレンジコミュニティ主催の地域コーディネーター勉強会に参加。地域内の課題に地域外の人材をどのようにつなぐのかについて、実例を元に解説を受けた
- ・ 3 回目 2024 年 3 月 5 日（外部研修）
参加者 2 名
講師：NPO 法人 ETIC 瀬沼希望さん
内容：プロボノコーディネートの導入として、プロボノ導入を考えている団体（1 団体）をゲストに迎えヒアリング実施とプロジェクト立案を行った。
- ・ 4 回目 2024 年 3 月 15 日（OJT 研修）
参加者 6 名+アドバイザー 1 名（渡邊一馬）
内容：3 回目の研修でヒアリングした団体のプロボノプロジェクトについて仮案をもとにブラッシュアップを行った。
- ・ 5 回目 2024 年 3 月 29 日（OJT 研修）
参加者 5 名+アドバイザー 1 名（渡邊一馬）
内容：4 回目の研修でブラッシュアップしたプロボノプロジェクトを、3 月 26 日に団体へ説明。そこでの打ち合わせを元に再度つくったプロジェクトをブラッシュアップした。

（4）課題解決の参加者を増やすための情報発信

【実施目標】

- ・ 広報誌を発行して情報発信することで、支援団体や企業、行政から課題に関する相談が 10 件以上持ち込まれる
- ・ ホームページなどから 10 名のプロボノ希望者から参加申し込みがある

【成果】

- ・ 情報発信をしたことで、プロボノ希望者 3 名からプロボノ参加申し込みがあった。
- ・ プロボノ受入れに関する相談が 7 件、企業からプロボノ派遣の相談が 1 件持ち込まれた。

【実施内容】

- ・ せんだい・みやぎソーシャルハブの note で事業の進捗を発信
<https://note.com/socialhub/>
- ・ せんだい・みやぎソーシャルハブの情報発信を担うプロボノを募集。2 名のプロボノとホームページを含めた情報発信について検討し、せんだい・みやぎソーシャルハブのホームページを作成（2024 年 3 月 31 日公開）
<https://semi-hub.org/>
- ・ せんだい・みやぎソーシャルハブのリーフレット用のデザインを作成